

現人員

三二七〇〇ノリ同光通信之人員施ニシテ終了ス
將校以下 二〇四名

日

十二月十九日 火曜日

氣象

雨 天

位置

沖繩縣崎本部

日朝文字後先任下士官、指道士六名基本探検ノ中間
毎實施ス

行事

一八〇〇ノリ舎内外着潔敷正頃ヲ毎實施一〇〇〇終了ス
二〇〇〇ノリ各艇舟艇整備各艇長指揮士ニ毎實施
一〇〇〇終了ス
三六朝日引續き度之地一伊江島間崎地輸送ニタメ一〇
崎本部敷小船場ニ於テ舟艇隻隻及航路準備先
〇八三〇ノリ投航東見習士以下一七名各官九ノリ度各地至

後遺

崎本部部隊並六七五部隊所屬貨物輸送ノ實施
中九州西南地區ニシテ龍衣警報及投令ニシテ一〇〇〇終了
之為各地ノ崎本部要常ノ隊ス
一次期船團揚陸作業ニシテ少尉以下四九名那覇ニ派遣ス
三西岡ノ尉以下四名戦用木残係崎ニ輸送作業ニシテ
還ス

下位

一八〇〇ノリ水戰員及リ各員ニシテ
三三〇〇ノリ行軍至軍間警備成有急ノ機要ニシテ

現人員

將校以下 二〇四名

日

十二月二十日 水曜日

氣象

晴 天

位置

沖繩縣崎本部

二二抹消

十字挿入

日朝占大宇後先任下士官指導下ニ基本林探十分間
實施ス

行事

一、ハロヨリ舎内外清潔小整頓ヲ各小隊毎實施九三〇終了
三、九三〇ヨリ各艇長ノ指導下ニ舟艇整頓ヲ午前ト午後
二回、毎實施二六三〇終了ス

三、前日引續キ渡又地一伊江島間ノ軍需品ノ局地輸
送ノシメテハ、待本部製小艇場ニ於テ舟艇ニ乗入後所
準下備完了シ、ハロヨリ各又航海準備地整頓第一五八飛行大

隊第五〇飛行大隊並予部部隊所屬貨物伊
江島間ノ局地輸送ヲ實施ス

スル等本部ニ由テ常ニ下歸隊ス

一次期船團揚陸作業タメ、少尉以下凡那覇ヲ派遣ス

二、西岡少尉以下四名戦用木材ノ供給ニ輸送作業ニ多ク
派遣ス

派遣
作業

一、ハロヨリ船舶隊長閣下、初度巡視タノ准下備三角兵
舎内外清潔、整頓並各人ノ環境ノ整理ヲ實施ス

下候
教育

一、ハロヨリ船舶隊長閣下、初度巡視タノ准下備三角兵
舎内外清潔、整頓並各人ノ環境ノ整理ヲ實施ス

命令
要旨

一、ハロヨリ船舶隊長閣下、初度巡視タノ准下備三角兵
舎内外清潔、整頓並各人ノ環境ノ整理ヲ實施ス

三、那覇ノ球船作業命申第三三三號ニ基キ一部ヲ以テ依然
戦用坑木輸送ヲ實施スルト共ニ舟艇ノ注カヲ那覇

ニ集木結セシメ沖繩支部ノ每實施スル前項作業ニ協
力セントス

三、第二中隊長ノ坑木輸送ニタリ現ニ泊ニ待機シタル將校
ノ指導スル大發及六隻ヲ明ニ十一日以降同地ニ於テ第一

中隊長ノ指導下ニ入ラシムベシ

四、第一中隊長ノ前項第三中隊ニ部ヲ併ヒ指導シテ方
ヲ以テ連ニ那覇ニ集結シ沖繩支部ノ每實施スル第一項

ヲ以テ連ニ那覇ニ集結シ沖繩支部ノ每實施スル第一項

作業ニ協カヌヘシ
 五前項ノ外第一第二中隊ハ夫々將校ノ指揮スルニ依リ
 復ヲ以テ船工ニ大命第一三號ニ基テ戰用坑木輸
 送ヲ續行スヘシ
 八第四項ノ作業間ノ給養ハ池田支隊ヲ依リ
 凡細部ニ關シテハ甘蔗大尉ヲシテ指示スル
 將校以下ニハ四名
 現人員

月日 十二月二十一日 木曜日
 氣象 晴 天
 位置 沖繩縣 崎本部
 行事 一船船隊長陸軍大佐大町茂初度巡視セラルニ付
 ヲ入リヨリ舎内外清潔整理等々ノ環境ヲ整正理
 海軍施ハ凡三ノ終了ス

二〇九五ヨリ舟艇ノ偽裝作業ヲ殘員ヲ以テ容員施一ニシテ終了
 三船船隊長陸軍大佐大町茂初度巡視スルニ依リ
 舟艇ニ依リ崎本部ニ到着舟艇ノ分散秘匿ニ依リ
 燃料ノ分散偽裝狀況等々約四十分ニ亙リ巡視セラル
 一四〇ノ安和ニ向ヒテ及ス
 四現ニ容員施ニシテ喜瀬ノ坑木運領トスルニ依リ本部
 船場ニ於テ舟艇ニ復シテ航向ヲ指示スルニ依リ
 東見島トシテ以下七名一ニシテ喜瀬ニ到着直ニ坑木ノ積
 載ニ依リ容員施一四ノ發射航喜瀬ヲ以テ發射ニ五〇ノ命令
 ナク宿營地タル崎本部ニ歸隊ス
 一次期船團ノ場陸軍作業トシテ上少尉以下四名那西朝ニ派遣ス
 二西岡少尉以下四名戰用木材ノ供給輸送作業トシテ派遣ス
 一〇八〇ヨリ休操並ニ隔地間ノ手旗送受信ヲ容員施二三ノ終
 了ス

部下
 龍
 龍
 龍

命一陸軍少佐 春山正左衛門 本職隨行命令 將校以下 三四名

月日 十二月二十二日 金曜日

氣象 晴

位置 沖繩縣 崎本部

行事 渡久地一伊江島間 擔任局地輸送ヲ本日升續キ各
崎本部 船場 於ニ舟艇一隻及發航准テ備完了シ
ハシ。及發航谷村見習士官以下八名ノ九ノ渡久地ニ
リ勞働者並ニ路ノ米ヲ搭載シ。九ノ發航伊江島ニ
輸送ス。一ノ機帆船搭載貨物一伊江島揚陸
作業ヲ毎日施シテ了シ。ハシ崎本部ニ日英中ナシ

歸隊ス

三船工作命第一三三號ニ依リ「號濱習部隊」那覇朝
於ケル搭載作業タチ春山少佐以下三名亦日英中
於テ受領セシ航本ヲ奉リニ輸送シタノ舟艇ニ上艇シハ
「崎」本部 數ノ船場ニ於テ戰用木材ノ積載セル舟艇
三隻及發航準備完了シ。ハシ發航東見習士官以下
三人名本日那覇朝ニ泊。隊是ヲ以テ那覇朝ニ向テ前進ス
一又「那覇朝」到着ス現「那覇朝」於テ次期船團ノ場
陸ル業ニ從事中。上田少尉以下四九舟艇ニ戰用木
材ヲ渡リニ輸送シ。那覇朝ニ於テ待機中。四ノ少尉以
下四名舟艇ニ春山少佐ノ指揮ニ入ラシメ。那覇朝於テ
「號濱習部隊」搭載作業ヲ準備ス
戰用木材ヲ渡リニ輸送シ。西園少尉以下那覇朝於テ
東見習士官以下三人名明日渡リニ輸送ス

手入

現人負	將校以下 一四一名
要人負	和七名
教員	三殘余者ハハロヨリ舟艇整備ヲ各員施一三〇終了ス 一〇ハロヨリ体操(指揮)法及指道ヲ法(各員施一三〇終了ス 三三〇ヨリ各個教練(助手)上シテ動作(各員施一三〇終了ス 那覇朝ニ於テハ「一」號演習部隊ヲ搭載作業(各員施一三〇終了ス (各員面内)少尉以下一四一名)派遣ス
位置	沖繩縣 崎本部
行事	一〇ハロヨリ殘余者ハ舟艇整備ヲ各員施一三〇終了ス 業ニ午前十後三〇ヨリ各員施一三〇終了ス
派遣	「一」號演習部隊ヲ搭載作業(各員施一三〇終了ス 春山少佐以下一三名
月日	十二月二十三日 土曜日
氣象	曇云

那覇朝ニ派遣ス

現人負	將校以下 一四一名
教員	一〇ハロヨリ教育計畫ノ作成及教育ヲ各員施一三〇終了ス 二三〇ヨリ學科(作戦)要務ヲ各員施一三〇終了ス
位置	沖繩縣 崎本部
行事	一〇ハロヨリ殘余者ハ舟艇整備ヲ各艇長ノ指揮(各員施一三〇終了ス 施一六〇ヨリ終了ス
派遣	「一」號演習部隊ヲ搭載作業(各員施一三〇終了ス 春山少佐以下一三名 那覇朝ニ派遣ス
月日	十二月二十四日 日曜日
氣象	晴

戦用木枝、棧川、輸送中、面内少尉以下二六名舟艇
三隻又ハロヨリ歸隊ス

下士 一〇八〇〇リ内夜方會實施一三〇終了ス

三三〇〇リ 休致カス

現人員 將校以下 一四一名

月日 十二月二十五日 月曜日

氣象 晴 天

位置 沖繩縣 崎本部

行事 前日引續キ喜瀬一湊川間ハ戦用木材輸送ニ

シテ九〇リ崎本部繫船場ニ於テ舟艇三隻發航准テ

備完了シシ九ニシ及航西岡少尉以下四名ニシテ喜

瀬ニ至リ右戦用木材積載ヲ一五〇リ終了シ明日湊川

ニ輸送豫定ヲ以テ七〇リ宿營地タル崎本部ニ異テ

常ニ歸隊ス

三夜余ハ八〇リ舟艇整正備置防空壕ヲ掘開キ業ラ

午前ト午後三ヨリ會實施一七〇リ終了ス

派遣 一〇リ 濱野部隊ヲ搭載ルキニシテ春山少佐以下二三名那

西朝ニ派遣ス

下士 一〇八〇〇リ火砲取扱及手入法ヲ會實施ニシテ終了ス

三午 前ト同様ニ三〇リ火砲取扱及手入法ヲ會實施

一六三〇リ終了ス

三夜 前ト同様ニ三〇リ火砲取扱及手入法ヲ會實施ニシテ終了ス

現人員 將校以下 一四一名

月日 十二月二十六日 火曜日

氣象 曇 天

位置 沖繩縣 崎本部

行事 昨日喜瀬ニ於テ受領セル戦用木材湊川ニ輸送シテ

〇七三〇リ崎本部繫船場ニ於テ舟艇三隻及航准備

位置	沖繩縣 崎本部
行軍	一昨夜以來、撤夜作業、祥進丸、揚陸ハロハロ終了 シ、舟艇五隻又、山形少尉以下四名宿營地タル崎本部 ニ回テ常ナク歸隊ス、 ニハハロヨリ各艇長ノ指揮、下ニ舟艇救正備ヲ午正前ト 午後三時、客員施一セリ、終了ス、 三、殘余ノ者ハロハロヨリ、舍内外、清潔、救正頃ヲ客員施 一セリ、終了ス、 ハ「號」横羽部隊、搭載作業、夕上、四少尉以下、六 名、那西朝ニ派遣ス、 一敵機動部隊、近接、疑アリ、 本三十一日、三ハロ、南西諸島、全地區、三區、内の、砲戰、備、下、令 セラル、 ニ聯隊、ハ、速ニ、内、號、戰、闘、配、備、ニ、就、カントス

現人員	將校以下 一九三名
異人顔	三本部各中隊並、移動修理班、船工三六、作命第六 號、准下壕、對空、對海上、警戒、戒ヲ嚴シラシムヘシ 四、予ハ本部國民學校ニ在リ 陸軍兵長時本重一、外三十七名 船舶工兵第三十二聯隊、船舶工兵第三十六聯隊ニ轉屬 ラハ、甲、乙、ラ、レ、當、隊、ニ、編、入、ス
月日	十二月三十一日 日曜日
氣象	晴 天
位置	沖繩縣 崎本部
行軍	一ハハロヨリ、年末ニ於ケル、舍内外、清潔、救正、頃、並ニ、各人ノ環境 ノ、救正、理ヲ、客員、施、一、日、ヲ、終、了、ス、 ニハハロヨリ、舟艇、ハ、分、散、撤、退、作業、ヲ、各艇長、指揮、下、ニ

毎日施二二〇〇終了ス

午後二二〇〇部隊長ノ内務ヲ巡視一ニ〇〇終了ス

二二〇〇部一般ニ休務カス

作派 遺 〇〇號機習部隊ノ搭載作業ヲ上田少尉以下六六名

那覇ニ派遣ス

戦 命 一聯隊ノ作戦ヲ推移ニ伴ヒ安和作業隊(含本部勤務)

要員)並大宣味伐採隊編成ニ部長編ニ作業能

力ヲ増強セントス

本部各中隊材料取別紙編成要領ニ基キ勤務力

及作業人員並所需器材ヲ一月二日ニシテ近ニ夫々關係

指揮官ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

日 命 二陸軍軍曹 長尾金作 給一等付給

陸軍軍曹 杉山鶴吉

給一等付給

現人員 將校以下 一九二名

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月三十一日

作業詳報

船舶立本第三十六聯隊第中隊

重量	積容	量数	品名	前	場	作業時間	實働時間	平均	延	延	延
	20	450	引揚品		陸場	十月二十日	八時	平均	六時	延	延
					瀨底	十一月一日	八時		六時	延	延
					銷地	十一月七日	八時		六時	延	延
					持						
					禪						
					官						
					西						
					岡						
					少						
					尉						

作業名 南海丸 引揚作業

陸場瀨底銷地持禪官西岡少尉

陸場瀨底銷地持禪官西岡少尉

陸場瀨底銷地持禪官西岡少尉

飛行行態

一 亮

船三六作命第二九號依、獨混四依因新能心勢、轉夜依輸送
 及日塔載、實質施ス
 一 作業、概要
 自十二月五日一、
 至十二月六日一、
 且陸上作業部隊、集合同時、能良好ニシテ、作業順調進捗セリ、
 戸イン、那、朝、大、名、来、作、業、進、捗、セ、ル、コ、ト、能、意、如、ク、
 稜作、得、ス

- 第六七九號艇 齊藤伍長以下八名
- 第六七五八、 西田兵長、
- 第一一三、 安達幸兵、

作業 名 渡久地 - 伊江島間局地輸送

作業 百十二月九日
 至十二月三日
 實働 延五八時間
 六、三、延
 兵、一、八、四、名

野	積	量	頭	馬
		17	馬	馬
		55	車	馬
	290	2250	本	戦
	355	812	梱	糧
	44	1200	束	茅
	145	92	梱	被
	347		人	食
	3	50	梱	修
	12	114		産
	55	15		日
	1			衛
				遺
	2	500		鉄
	2	200		白
				カ
				自
	9	200		薪

空 場 渡久地 - 伊江島
 宿 官 西園
 谷 見 七 大石 見 七

船五六作命第一三號衣ノ小満第三九港灣設是隊用幹用木材局地
 輸送。吳施之
 一作業概要
 十一日 崎本部 発航西ノ系満着 系満第三九港灣設是隊三泊
 十二日
 十三日 系満 発航二六〇崎本部着人員并艇共異當アナ
 十四日 候十一日晴天海上平穩ナリ
 十五日 候十二日波浪若干有南猛烈ナル是タ航行目標ヲ失
 三困難ヲ感セリ

第六七五號艇 黒石伍長 以下八名
 第六七三 飯田兵長
 第六七六 沼倉兵長
 第六六九 松田伍長

航行年報

作業 名 喜瀬崎本部商局地輸送

戦用木炭	数量	積容	車量
21	10/12		
場所	時間	費用	備考
喜瀬崎本部	自十二月十四日ヨハレ 至十二月十五日一三〇	三時間十分	六ノ艇員十五行 六ノ艇員十五行 五ノ艇員
場所	時間	費用	備考
喜瀬崎本部	自十二月十四日ヨハレ 至十二月十五日一三〇	三時間十分	六ノ艇員十五行 六ノ艇員十五行 五ノ艇員
場所	時間	費用	備考
喜瀬崎本部	自十二月十四日ヨハレ 至十二月十五日一三〇	三時間十分	六ノ艇員十五行 六ノ艇員十五行 五ノ艇員